

令和4年度阿南市地域公共交通会議 第1回会議 議事録

日 時 : 令和4年5月19日(木) 15:25~16:00

場 所 : 阿南市役所3階 303会議室

出席者 : 阿南市 副市長 山本 俊也
徳島バス(株) 企画管理部 副部長 東 孝行
徳島バス阿南(株) 取締役社長 千本 寿史
四国旅客鉄道(株) 徳島企画部長 山本 仁志
阿南市民生児童委員協議会 会長 丹生川 和彦
阿南市セニアクラブ 会長 吉田 忠彦
四国運輸局徳島運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査) 山本 美恵子
四国運輸局徳島運輸支局 首席運輸企画専門官(総務・企画観光) 賀出 晴美
阿南警察署交通課 課長 津山 裕典
四国地方整備局徳島河川国道事務所 副所長 山本 健司
徳島県南部総合県民局(阿南) 県土整備部部長 三好 一生
阿南市 建設部長 豊田 一郎
阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 准教授 加藤 研二
(仮称) NPO 法人たすけ愛あなん 福永 亨
社会福祉法人阿南市社会福祉協議会 第1層コーディネーター 今川 聡士
阿南市 特定事業部長 倉本 正樹
阿南市 福祉事務所所長 石本 祐一
阿南市 地域共生推進課 兼任課長補佐、近久主事
【事務局】(まちづくり推進課) 清原 課長、武田 課長補佐、西野 係長、
下村 主事

欠席者 : 阿南市 市長 表原 立磨
社団法人徳島県バス協会 専務理事 長谷部 一喜
毎日タクシー(有) 代表取締役 畠山 頼彦

協議事項：

- (1) 那賀川町島尻・江野島・小延地区における「ご近所ドライブパートナー事業」の導入について
- (2) その他

資料：【配布資料】

- ・阿南市ご近所ドライブパートナー事業実施計画書（案）

1. 開 会

(事務局) ただいまから「令和4年度阿南市地域公共交通会議 第1回会議」を開催させていただきます。

本日は、お忙しいところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

欠席されている方の書面協議による出席も含めまして、阿南市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により、第5条各号に定める構成員さん、それぞれ1名以上のご出席をいただいておりますので、本日の会議が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、これから協議に入りますが、本会議の議長につきましては、要綱第6条第1項によりまして、会長である市長がこの場の議長を努めることになっておりますが、欠席のため、要綱第4条第3項の規定により阿南工業高等専門学校に加藤構成員が職務代理者として指名されておりますので、よろしく願いいたします。

2. 協議事項

協議事項 1. 那賀川町島尻・江野島・小延地区における「ご近所ドライブパートナー事業」の導入について

(事務局) 【那賀川町島尻・江野島・小延地区における「ご近所ドライブパートナー事業」の導入について、NPO法人、阿南市社協、市担当者が出席していることを説明】

(地域共生推進課) 【資料に沿って事業説明】

(職務代理者) 資料5ページの15の表の「利用者の見込み数」ですが、一日に5～10人利用するということですか。

(地域共生推進課) 登録者数が5～10人であるということです。

- (職務代理者) 先行している加茂谷地区の事業者さんからこういうことが大変ですといった意見をいただいていると思いますが、この意見というのは那賀川の方へフィードバックをしていますか。また、NPOとして何かやっていこうと思うことがあれば教えてもらいたいです。
- (阿南市社協) NPO 法人を立ち上げていく上での準備会では、加茂谷地区の事務局の担当の方に来ていただいて、実際にどのような事業を行っているかについてや那賀川地区でどのように進めた方がいいのかということの協議、フィードバックをしています。
- (職務代理者) その中で事務局の負担を減らしてほしいといった意見はありますか。何を負担に思われていて、どのように削減してほしいか具体的に分かりましたら教えてください。
- (阿南市社協) 市に提出する書類の作成等がありまして、慣れていないのでとても大変ということを知っています。また、加茂谷地区は車をリースしている関係で会計が大変であるということを知っていますので、那賀川地区の会計については、シンプルな会計になるように話を進めています。
- (職務代理者) 今後は、このような事業をしたいというところが増えてくる気がしますが、事務手続きが大変という話がありましたので、阿南市のホームページで簡単に申請できるようにする等、NPOさんの負担を無くして参入しやすくしてあげるということを具体的に検討してもらえるとありがたいと思います。また、加茂谷地区で利用者が7人と書いてありますが、もう少し受けたい人もいるのではないかなと思います。受け入れが7人しかできないということでしょうか。
- (阿南市社協) 利用者の対象として、認定を受けていることや同居している家族が車に乗らないこと等が条件になっています。そのハードルからいいますと10人くらいまで増える可能性はあると思いますが、現時点の利用者が7人というのは妥当なのではと思っています。
- (職務代理者) 今後増えるという見込みはありますか。
- (阿南市社協) 年々、年齢が上がることによる運転免許の返納というのが増えてくると思いますので、少しずつは増えるでしょうが急激に増えることはない、那賀川地区も同様に考えております。
- (職務代理者) 運転免許の返納という話は結構大事なポイントで、対象の方に免許返納を進めていただいて、こちらの制度を利用しやすくするというのも、事故を起こさないことを考える上では大事になるのかなと思います。公共交通

のタクシーも含めてそういうのを考えなければならぬかなと思います。このような事業をやっていただいて問題が起こればそれをフィードバックして、このような会議で報告をしていただいて、交通事業者さんと協力するのも大事になってきますので、是非とも色々な声をいただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

(NPO 法人) 現状、加茂谷地区や那賀川地区において、対象者というのは限られています。要支援 1・2の方、もしくは、チェックリストの該当者が対象者となりますが、介護保険制度内の運用となるので、一般の利用者に広がっていくというのがどうしてもできません。それが、実際に運営している加茂谷地区や NPO からすると非常にまどろっこしさを感じますし、疑問を抱きながら事業をしているのが現状です。私たちの希望としたら、現状は介護保険制度によるドライブパートナー事業になるでしょうが、これからは運転免許返納者も増えてきますし、公共交通のバスの路線もどんどん廃止されていく可能性が高いと思いますので、この制度を広げていくのに介護保険制度の枠の中でやっていくのはネックになりますので、そこの幅を広げて対象者を増やし、いかに利便性を向上させるかというのがこれからの大きな課題と考えております。交通事業者さんとの利害関係という話もあるかと思いますが、いかに住民のニーズを確保していくかということで、それぞれの立場で歩み寄って、幅広い活用ができるようになればいいかなと我々としたら考えております。

(職務代理者) 現場の生の声をいただきましてありがとうございます。制度的にできないというのは大きいので、国交省さんや徳島県さん等で、行政的な枠組みの検討をお願いしたいとは思っています。現場としては、何とかしてあげたいというところがありながらできないということですので、是非とも、利用者が利用しやすい環境を作っていただいて、クオリティオブライフを高めるというのが一番いいと思います。現場としては頑張っていますので、お力添えいただけたらと思いますので、皆さまよろしくお願いいたします。

(構 成 員) 高齢者のために皆さまからお力を出していただきまして感謝申し上げます。介護保険の補助を使うので、要介護 1・2 でないといけないということですが、現在、高齢者の事故というのは問題になっていますので、運転免許返納者というのにも入れられるように働きかけるというのはできないでしょうか。いい制度があるので、できたら考えていただきたいと思います。

ます。よろしく申し上げます。

(職務代理者) お金の出どころの問題の話もあるので、仕方ない部分もあるとは思いますが、運転免許の返納を促す部局が同じような制度を立ち上げて、今回の制度と協定する形で両方できるようにして手を結ばばできてしまいます。やり方は色々あると思いますが、その辺を上手く利用したり、考えるということもあっていいのかなと思います。私自身はどちらかというのできないものはできないというよりも、どうすればできるかを考え、できるならやってみたいなというような考えで、無理でも可能性があればそちらに進みたいなと思っています。また、他にこのようないい制度ありましたら、教えてもらいたいと思います。

(構 成 員) バス事業者として行っているサービスをお伝えします。運転免許返納者については、徳島バスも阿南バスも半額で乗れます。また、阿南バスではしていないですが、徳島バスでは、65歳以上の方でしたら「ながいき定期券」というものがありまして、一年間の定期券でしたら36,500円ですので、一日100円で乗れまして、往復でしたら一回50円で乗れます。そういうものもありますので、またご利用ください。ご近所にそういう方がいらっしゃいましたら買って乗ってください。我々は乗っていただいた方がいいですし、バス事業者としまして、家でテレビを見ているよりも、外に出て足腰を鍛えて活性化してもらいたいと思っていますので、そのためにも運賃をできる限り安くして、健康維持に役立てばと思っています。よろしく申し上げます。

(職務代理者) 情報提供ありがとうございます。NPOさんも地域でそういった情報を流していただいて、できるだけ多くの方が公共交通を使って楽しい阿南市で住んでいただくというのを目指していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(構 成 員) 事業の位置づけのところに、介護予防・日常生活支援総合事業ということになっていますが、認定された人はこの事業を利用できると思いますが、それに準ずる人は利用できるのですか。

(地域共生推進課) 基本チェックリストというのがございまして、それが事業対象者ということになります。事業対象者というのは、要支援1・2よりも介護の要支援の必要とする度合いが低い方にはなるのですが、そういった方がチェックリストに該当すれば利用可能です。身体状況が少し弱ってきているような状況の方になります。

(構 成 員) 高齢者の中でも支援を受けたいのと思う人がいるのですが、受けたくないという人がいます。そういった準ずる人はどうなりますか。

(地域共生推進課) 介護保険制度ですので、基本チェックリストや要介護認定を受けていたかないと介護サービスというのが受けられない状況です。その辺りはお世話センターに相談いただきまして、できる限りご理解いただいた上で制度の利用をお願いしたいと思います。

(構 成 員) 地域の検討会ではそういった声がよくでてきます。ですから基準として、要支援1・2と同じような人でもどこかで認定を受けていたら制度の対象になるのかなと思ってお聞きしました。

(職務代理者) ありがとうございます。非常にわかる話ですが、認定がないと利用できないという話になりますので、理解いただいて申請していただくようになると思います。

他にございませんか。特にないようですので、原案どおり承認させていただきたいと思います。

協議事項 2.

協議事項 2. その他

(職務代理者) その他についてですが何かございませんか。

(構 成 員) JR 四国の山本です。最近ずっと新聞記事を賑わせておりまして、駅舎の問題や線区別収支、運賃値上げの話など、一面を飾ることが多くなっています。その中で、来春に向けて乗車券の発売チャンネルを増やそうと考えています。無人駅が多くなっているため、高校生が定期券買う際にも有人駅まで行っていただいていたのですが、来年の春までにスマートフォンによる購入ができるようにと考えております。高校生になりますと、クレジット決済というができないケースがありますので、保護者のスマートフォンでお買い求めいただき、お子様に渡していただくようになろうかと思えます。高校を含めてスマートフォンの持ち込みが可能かどうか教育委員会等々にご相談しようと考えております。一部、事業計画で少し取り上げられていることではあるのですが、この場で紹介させていただきます。ありがとうございました。

(職務代理者) ありがとうございます。スマートフォンを持って自由に乗り降りできる切符ができて、JR 四国さんが窓口になっていただいて、それを表示すれば徳島バスさんなどでも使えるようになればいいですよという話を山本

さんとしていました。そのように色々なものを活用しながら皆さんが利用できるチャンネルを増やすということが大事になります。これは阿南市に限らず、徳島県として色々していけたらと思っています。なので、その発信点が阿南市でもいいのかなと思います。今後ともこういうようなものがあればご提示いただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。他にございませんか。

(地域共生推進課) 先ほどのドライブパートナー事業の説明の中で、一部資料の訂正がありますのでご報告いたします。実施企画書の5ページをご覧ください。実施時期について令和4年7月下旬からと説明しましたが、現在NPO立ち上げの段取りをしている段階でして、多少後ろの方へ伸びそうということでご理解いただけたらと思います。

(職務代理者) NPOが立ち上がったから事業開始ということになりますか。

(NPO 法人) そうなります。

(職務代理者) では、設立日から令和5年3月31日ということでよろしくをお願いします。

3. 閉 会

(事 務 局) それでは、閉会にあたりまして、山本副市長からご挨拶をさせていただきます

(山本副市長) 【副市長あいさつ】

(事 務 局) 以上をもちまして「令和4年度阿南市地域公共交通会議第1回会議」を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上